

2022年 4月 1日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

上部尿路結石症に対する経皮的尿路結石砕石術における周術期合併症に関する全国調査

2. 研究責任者

海南病院泌尿器科 窪田 裕樹

3. 研究の対象

上部尿路結石症に対して経皮的尿路結石砕石術を施行した症例を対象とします。

4. 研究目的

2cm以上の腎結石症に対する外科的治療の第一選択は経皮的腎砕石術（PNL）とされています。しかし、PNLは複雑な腎結石に対しては治療効率が低下すること、また輸血を必要とするような出血や、感染のリスクが高いことが問題とされています。近年、これらの問題を克服するため、経皮的腎砕石術（PNL）と経尿道的尿管砕石術（TUL）を同時に行う経皮経尿道同時内視鏡治療（ECIRS）が行われるようになりました。今までは同時手術でもPNL単独治療として保険請求されていましたが、2020年度より臨床の実態に合わせて、TULの保険点数の加算が認められたことより、ECIRSの手術件数の増加が見込まれています。そこで、本研究では、上部尿路結石に対する経皮的尿路結石砕石術の日本の現状を明らかにするため、過去の症例のデータを蓄積します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・患者背景：性別、年齢、身長、体重
- ・画像検査の結果：手術前水腎症の有無、手術前尿管ステント留置の有無、尿路結石部位、結石サイズ（最大長径）、結石の硬さ（CT値：HU）
- ・手術方法：術式、体位、穿刺方法、トラクトサイズ、トラクト本数、手術時間

6. 外部への試料・情報の提供

外部研究機関へのデータの提供は、匿名化された状態で行います。

7. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

8. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 泌尿器科 窪田 裕樹

電話：0567-65-2511（代表）